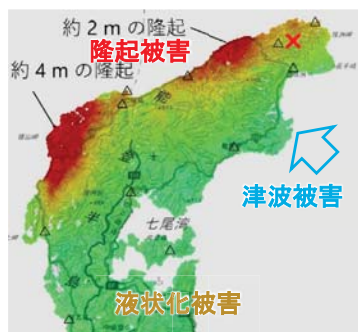


令和6年能登半島地震 港湾の復旧・復興のあゆみ

令和6年能登半島地震により、金沢港、七尾港、輪島港、飯田港等、県管理の10港湾全てにおいて、岸壁や物揚場、防波堤、臨港道路、ふ頭用地など多くの施設が被災しました。発災直後から、国をはじめ関係機関と連携しながら復旧作業を進め、緊急支援物資の輸送や、物流機能の確保に取り組んできました。今後も、引き続き関係機関と連携し、早期の復旧・復興に向け全力で取り組んでいきます。

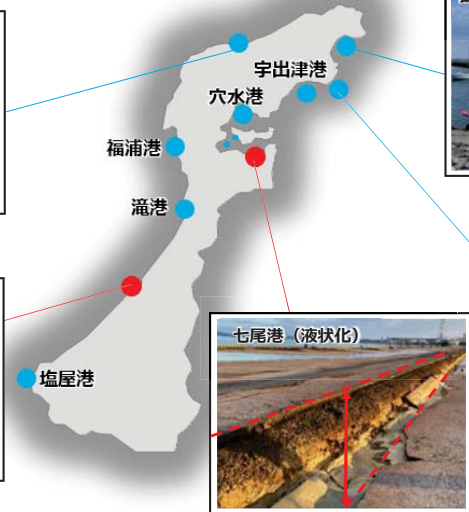
被災状況の特徴



出典：国土地理院公表資料より

外浦側では**地盤隆起による被害**
内浦側では**津波や揺れによる被害**がみられました。
また、重要港湾である金沢港、七尾港では、**液状化による被害**が広範囲に発生しました。

港湾の主な被災状況写真



復旧・復興のトピックス

① 6月1日(土) 七尾港大田3号岸壁の応急復旧が完了し、利用制限を解除



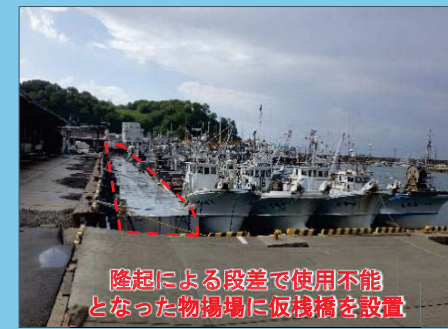
② 6月5日(水) 金沢港御供田ふ頭の応急復旧が完了し、地震後初のセメント船が入港



復旧工事の進捗状況



[A] 輪島港 航路啓開 (浚渫)



[B] 輪島港 仮棧橋設置